

第1回

琉大病院市民公開講座

主催：琉球大学医学部附属病院
(都道府県がん診療連携拠点病院)



婦人科系のがん診断・治療 — からだにやさしい治療 —



入場無料

【企画】

琉球大学医学部附属病院 地域医療部
琉球大学医学部附属病院 医療福祉支援センター
琉球大学医学部附属病院 がんセンター

日時：平成20年8月24日(日) 開場 13:30 開演 14:00
場所：沖縄県立博物館・美術館3階 講堂 *詳細は、別途プログラム(裏面)をご参照下さい。

講演 I



婦人科のがん治療あれこれ

長井 裕(琉大病院周産母子センター講師)

本日の演題は、「婦人科のがん治療あれこれ」です。
三部構成でお話しします。

まず最初に、婦人科系のがんの種類(①子宮頸がん・子宮体がん②卵巣がん・卵管がん③膣がん・外陰がん④絨毛がん)について、説明いたします。

つぎに「治療あれこれ」として、①標準的な治療方法、②妊娠が可能な治療方法(確立された治療から最新治療まで)について、わかりやすく解説します。

最後に「早期発見が、いかに大切なことであるか」についてお話しする予定です。

講演 II



子宮頸がんの放射線治療 —安全でからだにやさしい治療をめざして—

戸板 孝文(琉大病院放射線科 准教授)

放射線治療は、がんの重要な治療法のひとつです。メスをいれずに治療するため、からだ全体への負担が非常に少ないのが特徴です。上手に治療すれば、正常な細胞に大きな障害を残さず、がん細胞のみをたたくことが可能な「からだにやさしい」治療法です。子宮の入り口に発生する子宮頸がんは、早期はもちろんのこと、進行した例でも、放射線治療で完治を目指す代表的ながんの一つです。

本講演では、放射線治療で完治するがんの代表である子宮頸がんについて、実際の放射線治療の方法を紹介し、更に「からだにやさしい」治療法を目指した最近の研究結果についても触れたいと思います。

趣旨・目的

大学病院の活動状況を広く県民に知って頂き、「県民のための大学病院」という使命・役割を明確にし、地域医療への貢献、ひいては県民の健康増進に寄与することを目的としています。

ご存知ですか？

20代から子宮頸がんになる患者さんが増えてきています。

手術？
放射線？
お薬？



妊娠は
可能ですか？

もっともっと知って欲しい女性のがん
子宮がん・卵巣がんについて、くわしくお話しします。

がんが見つかった場合、どんな治療法があるの？
治療の種類（一般的な治療法、妊娠が可能な治療法）について
それぞれの特徴と有用性をわかりやすく説明いたします。

プログラム

- 14:00～14:10 **開会挨拶**
須加原 一博（琉球大学医学部附属病院 病院長）
- 14:10～14:55 **講演Ⅰ**
「婦人科のがん治療あれこれ」
長井 裕（琉大病院周産母子センター 講師）
- 14:55～15:00 **休憩**
- 15:00～15:45 **講演Ⅱ**
「子宮頸がんの放射線治療 -安全でからだにやさしい治療をめざして-」
戸板 孝文（琉大病院放射線科 准教授）
- 15:45～16:00 **がんセンターの紹介**
「琉大病院がんセンターの機能と役割について」
増田 昌人（琉大病院がんセンター センター長）
- 16:00～16:10 **休憩**
- 16:10～16:25 **質疑応答**
- 16:25～16:30 **閉会の挨拶**
村山 貞之（琉大病院地域医療部 部長）

【交通機関のご案内】

- ・一般無料駐車場（140台）完備
- ・バス停留所（おもろまち2丁目・県立博物館前）下車
沖縄バス（227番）、琉球バス（223番、227番、263番）
那覇バス（3、10、11番）
- ・モノレールおもろまち駅 徒歩約10分

※ 当日、会場周辺は大変込み合うことが予想されますので、公共交通機関のご利用をお勧め致します。

◆ 沖縄県立美術館・博物館へのアクセス図

